



「家は人を創る」を社是に  
妥協のないクオリティを追求

あなたにとって家とは何だろうか。雨風をしのぎ、十分な睡眠を取れる場所であり、家族と団らんできる空間であり、疲れた心身を包み込んでくれる存在かもしれない。《株式会社アート建工》の魚谷宗司社長が第一に考える家の役割は、「人を創る」だ。「人は幼い時からの習慣で人格を形成していきます。そしてその習慣は、環境で無意識に身に付いていきます。私たちは、家づくりを通して人づくりのお手伝いをしていきたいと考えています」と続ける。

創業は1985年。港湾土木建設会社を経営する魚谷社長の父が住宅事業に参入したのが始まりだ。大学卒業後の2004年に入社した魚谷社長は、競売物件から債務者を追い出す任務を与えられた。家を追われることは、商売に失敗したり、無理なローン計画を組んだりしたケースが多くった。そしてそれ以外の人と共通していたのが、日々の暮らしを大にできていないことだった。「整理整頓や約束を守ることに厳しかった祖父を思い出しました。習慣で人は育つんだと痛感したんです」と魚谷社長。祖父から受け継いだ思いは、「家は人を創る」という社是につながった。無理のない資金計画を提案する重要性も身に染みた。

その後、注文住宅事業に本格参入。日本最大級の工務店ネットワークに加盟し、国内外各地の家を回る中、今や会社の代名詞にもなりつづく「山陰スタンダード」という考えにたどりつく。「地域の気候に応じた家づくり、性能の必要性、まちづくりと一体化したデザイン性。そのすべてを実現していくねばならぬ」と強く感じました。32歳で代表取締役に就任すると、思いの具現化を加速させていった。

知名度ゼロの社名をPRしようと、モデルハウスを相次いで開設。完全自由設計の注文住宅《アート建工》だけでなく、17年には太陽光発電や省エネ対応の設備仕様でトータルコストを抑えた注文住宅《トコスホーム》、19年には資産性の高い立地にこだわった高品質分譲住宅《マチリブ》の2ブランドを追加し、顧客の選択肢を広げた。

家に求める価値は人それぞれ違う。しかし、どの家も暮らす人をよく良くするものであってほしい。そんな思いと、クオリティの高さが次第に人々の心をつかみ、2023年度の着工棟数は山陰ナンバーワンを記録。18年度の62棟から25年度は約5倍の300棟に迫る勢いだ。

## 暮らす人目線の家づくりで人づくりからまちづくりまで

今年創業40周年を迎えた《株式会社アート建工》。山陰の暮らしを追求した設計デザインや価格と性能のバランス、妥協のないクオリティなどが高く評価され、山陰NO.1の施工実績を誇っている。

19  
LEADING COMPANY



## 株式会社 アート建工

創業 昭和60(1985)年4月5日  
代表者 代表取締役 魚谷 宗司  
社員数 150名(男78名 女72名)  
本社 鳥取県米子市両三柳255-8

### 事業内容

注文住宅の設計・施工・管理、分譲住宅設計・施工・管理ならびに販売、不動産の売買、非住宅提案・施工・設計、福祉コンサルティング事業、まちづくりなど

### 勤務地(採用エリア)

米子市、鳥取市、出雲市、松江市、倉吉市

### 採用区分

新卒採用 キャリア採用

### インターンシップ・キャリア

日程が決まり次第、マイナビ、採用サイトとInstagramにて、順次情報公開。  
有

### 採用担当者からあなたへ

「人の幸せを通して自己実現をする」を経営理念に、山陰で暮らす人達が住みやすい家づくりやまちづくりを考えています。「自分の人生を自らリードせよ」をモットーにスピード感を持ち状況変化に応じて主体的に判断・行動し社員皆が協力してお客様の幸せのために全力を尽くしています。目標に向かって挑戦したい、成長したい、山陰を盛り上げたい方はぜひアート建工へ!

総務部人事  
久米本 薫さん

### 採用に関するお問い合わせ先

0859-21-2234

公式サイトは  
こちら

求人サイトは  
こちら

動画サイトは  
こちら



## 家・まち・社会をつくる



### 5ブランド展開しニーズに対応

家づくりの多様なニーズに応えようと、2024年度から住宅ブランドを2つ増やして5つ展開。断熱性や耐震性などの基本性能は同じにしつつ、比較的コストを抑えた分譲住宅から完全自由設計の注文住宅まで、フレキシブルに対応できる体制を整えた。



### 共生社会目指し福祉事業にも注力

グループホームの開業から運営までをトータルサポートする《ラシクスル株式会社》。住宅建築での実績を生かし、初期コストを抑えた運営が強みだ。今夏は、MOVIX日吉津シアターでユニバーサルデザインに配慮した上映会を主催。多くの障がい者や家族が楽しんだ。



### 非住宅専門ブランド《ワークスル》好評

2023年に非住宅専門ブランド《ワークスル》を新設。オフィスや倉庫、店舗建築に特化し、企業の生産性向上と従業員の働きやすさを両立する空間創出を目指している。事業計画の作成から融資、不動産の提案などまで細やかなサポートで支持を集めている。



### 小学校教諭から転身“お客様ファースト”で提案

大学卒業後、米子市内の小学校で教師をしていました。幅広い知見がないまま子どもたちを指導する自分に葛藤を抱き、他の職種を経験してみたいと思うように。“お客様ファースト”的理念を持つ当社を選びました。住宅アドバイザーとして、お客様のニーズや収入に応じた住まいづくりを提案。お客様のご希望とご予算のバランスを取った提案は難しいですが、引き渡し時の笑顔を見ると達成感を覚えます。



### 自宅の新築を機に転職成長し続けられる職場に満足

自宅を当社で建設。家づくりの過程で多くの魅力的な社員に接し、前向きな会社の雰囲気にも惹かれて転職を決めました。現場では社内外の多くの人と協力して作業に当たります。チームで課題を取り組み、一つ一つ解決していく中で日々自身のレベルアップを感じています。建築の仕事は学ぶことが多く、成長し続けられる職場であることに満足しています。



### ものづくりをリアルに体感し、地域に寄り添える存在に

「過疎化が進む町に一つの大型施設で人を集めのではなく、平面的に生活拠点を展開させることで、まち全体を元気にしていく」。入社の決め手になった社長の言葉です。ものづくりが好きで、学生時代には自ら設計した掘っ立て小屋をリヤカーに載せて宍道湖周辺を歩いたことも。理想を形にしようとする会社の姿勢は、自分の描く未来に合致しました。多くの視点からお客様や地域に寄り添える存在になりたいです。



設計部 新卒入社12年目



### 地道な作業と幅広い視野でイメージから空間を具現化

インテリアコーディネーターとして、床や壁の素材選びから電気配線や水回りの設備、照明の配置などまで、設計図を元に空間全体を考えています。一見華やかに見られがちですが、地道な作業や幅広い視野が求められ、責任ある仕事です。入社当時はまだ社内に専門部署がなく、社員もわずか25人だったのが、今や私はサブリーダーとなり社員も150人超。急成長する会社で、私なりの役割を果たしていきたいです。



設計部 中途入社6年目

### 諦めた夢にリチャレンジスタッフと連携して丁寧に作図

育児との両立が難しく、一度は建築業界から離れていましたが、再び働きたいという思いが強まる中、当社に出会いました。CADのオペレーターとして、現在は自宅でリモートワークをしています。作図中の気付きを社内チャットで伝えると即座に対応してくれるなど、コミュニケーションが円滑。立場や領域を超えて、スタッフ全員が同じ方向を見ながら助け合える会社です。好きな仕事を諦めずに続けられて幸せです。

## 暮らしやすいまちづくり目指し「地域NO.1」に挑戦し続ける

小学2年生から卓球を始め、ずっと1番を目指してきたものの、高校最後の県大会では2位。そんな自分にとって、当社が掲げる「地域NO.1になる」のフレーズは輝いて見えました。日々の頑張りが会社の成長に直結し、名実ともに山陰トップを目指し働く環境は刺激的です。営業マネージャーとして、人材育成や売り上げ確保などの課題がありますが、暮らしやすいまちづくりに携われることにやりがいを覚えています。

### 現場のコミュニケーションを大切に全員でよりよいものを創り上げる

建築棟数が多く、業界では珍しく分業制が徹底されている点に惹かれて転職しました。難易度が高い工事には不安もありますが、自分の力が試されるチャンスと捉えて挑戦。その繰り返しが確かなプライドにつながっています。一軒の家を建てるためには、数多くの職人さんや関係者の協力が不可欠。現場監督として、全員が力を発揮できるよう気配りし、お客様にとって良いものを生み出せるよう心がけています。